

ミカン糖度測定

愛知・東海市
果樹振興会

【あいち知多】東海市果樹振興会マルチ栽培夕焼け姫部会は12月上旬、東海市立農業センターで東海市立船島小学校の5年生57人にミカンの授業をした。

この日の授業のテーマは「おいしいミカンはどのようなミカン?」。一般的に実の色が濃い方がおいしいのか、薄い方がおいしい

のか、皮が厚い方が薄い方か、など七つの項目を部会員が一つずつ説明した。

おいしいミカンはどのようなミカンか学んだ児童は、実際にセン



収穫したミカンの糖度を
確認する児童

ターの敷地内で試験栽培しているミカンを収穫。おいしいと思うミカンと、特徴が逆のおいしくないと思うミカンをそれぞれ1人1個ずつ収穫した。収穫したミカンは糖度計で実際に糖度を測定。その後、実際にそれぞれのミカンを試食した。児童は「おいしいと思ったミカンの方が実際に糖度が高く、味もおいしかった。おいしさが数値で出るので、分かりやすかった」と話した。